



2022年2月9日

各位

会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ  
 代表者名 代表取締役社長 渡邊 壽信  
 コード番号 7173 東証第一部  
 問合せ先 広報部長 大和田 健二  
 (TEL 03-6447-5799)

### 業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ 2021年5月12日に公表いたしました 2022年3月期の業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 A	百万円 15,000	百万円 10,000	円 銭 320.82
今回修正予想 B	23,500	17,500	567.95
増減額 (B-A)	8,500	7,500	
増減率 (%)	56.6	75.0	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	8,224	4,161	128.87

(参考) 今回収益予想の内訳

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想	百万円 15,000	百万円 10,000
今回修正予想 B (C+D)	23,500	17,500
特殊要因を除く本業 C	17,000	11,000
特殊要因 D	6,500	6,500

#### 2. 配当予想の修正

	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回配当予想		30円00銭	60円00銭
今回配当予想		40円00銭	70円00銭
当期実績	30円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	30円00銭	30円00銭	60円00銭

### 3. 修正の理由

#### (1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正理由

通期の連結業績予想の主たる修正理由は、以下の通りであります。

##### 【特殊要因を除く本業（①②③きらぼし銀行の業績）】

- ① 貸出金利息が当初計画を上回る見込み
- ② 法人の役務取引等利益が当初計画を上回る見込み
- ③ 与信関係費用が当初計画を下回る見込み

(参考)

	2022年3月期 ＜計画＞	2022年3月期 ＜予想＞	計画比
貸出金平残	40,444億円	41,100億円	+656億円
貸出金利息	488億円	494億円	+6億円
法人役務取引等利益	43億円	53億円	+10億円
与信関係費用	86億円	64億円	△22億円

##### 【特殊要因】

- ④ 不動産売却を原資とした持分法投資利益計上見込み
  - ・持分法適用関連会社であるきらぼしインシュアランスエージェンシーにおいて、その子会社が財務戦略の一環として不動産売却を実施
  - ・当該売却益を原資に、きらぼしインシュアランスエージェンシーに対して期末配当を実施したことにより、持分法投資利益を計上見込み

(参考)

	2022年3月期 ＜予想＞
持分法投資利益	65億円

#### (2) 配当予想の修正理由

当社の配当実施に対する基本方針は、以下の通りであります。

- ・適正な内部留保による財務の健全性の確保に努めるとともに、継続的かつ安定的な配当を実施
- ・中期経営計画（2021年4月～）において掲げる、利益と純資産の水準に見合う株主還元水準の目標は「総還元性向 20～30%」

上記方針のもと、通期業績予想修正における特殊要因を除いた本業部分の利益（110億円）に鑑み、期末配当予想を10円増額し、期末の1株当たり配当予想を40円に修正することといたしました（特殊要因を除いた本業部分の利益110億円に対する配当性向約20%）。

#### (3) 企業価値向上に向けた今後の方針

持分法投資利益として計上する利益（65億円）については、当社グループのDX推進等経営の効率化に資する領域へ積極的な投資を行うことで、現在進めている中期経営計画に基づく各施策を着実かつ加速的に遂行し、更なる業績の向上へと繋げてまいります。

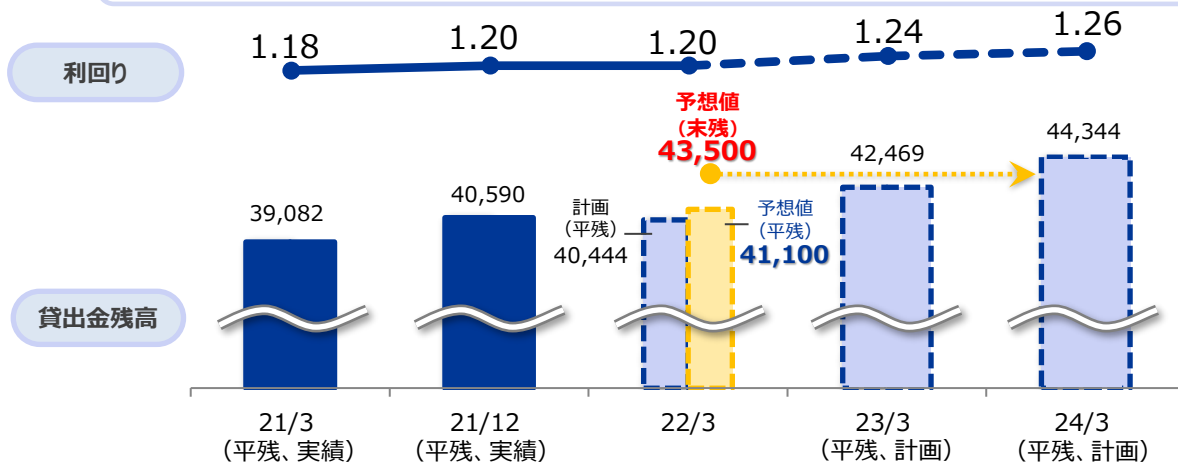
※ 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により変動する可能性があります。

以 上

# 2022年3月期 通期業績予想修正 参考資料

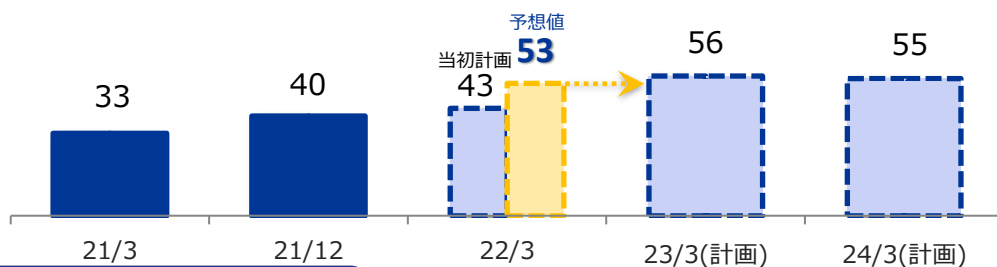
## 貸出金残高（億円）・利回り（%）

- 22年3月期の貸出金末残予想は、次年度（23/3期）の平残計画を超過
- 中期経営計画で掲げる平残計画の前倒し達成を見込む



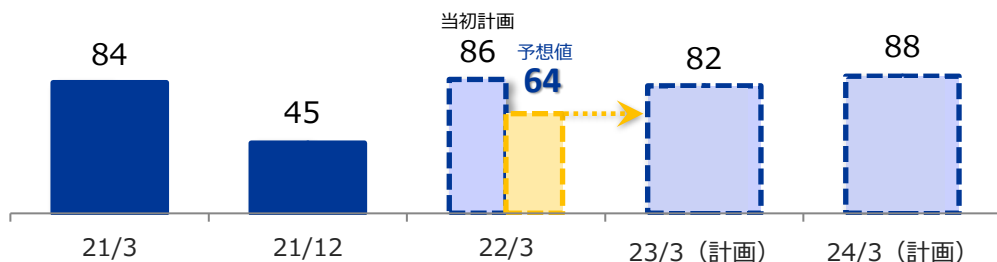
## 法人役務取引等利益（億円）

- 22年3月期は当初計画43億円を超過し、53億円程度を見込む（次年度（23/3期）の法人役務収益計画に迫る水準まで積み上がる見込み）



## 与信関係費用（億円）

- 22年3月期は与信管理強化等により、当初計画を下回る見込み



■ 本資料やIRに関するご意見、お問い合わせ先

東京きらぼしフィナンシャルグループ 広報部

TEL 03-6447-5799

mail ir@kiraboshibank.co.jp